

TOTO

スタッフ用手洗器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

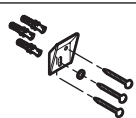
施工の前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

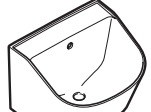
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

⚠️ 注意		
🚫 禁止	手洗器にかたい物を落とさない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	手洗器に強い力や衝撃を与えない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	手洗器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対にさわらない・使用しない 破損部でけがをするおそれがあります。早めに交換してください。	
	手洗器に熱湯を流さない 熱湯を使用しますと、手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

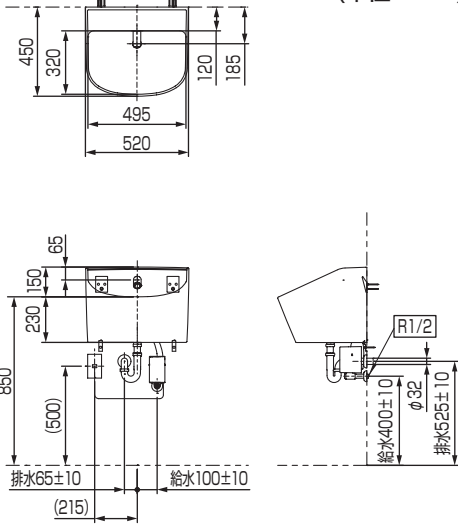
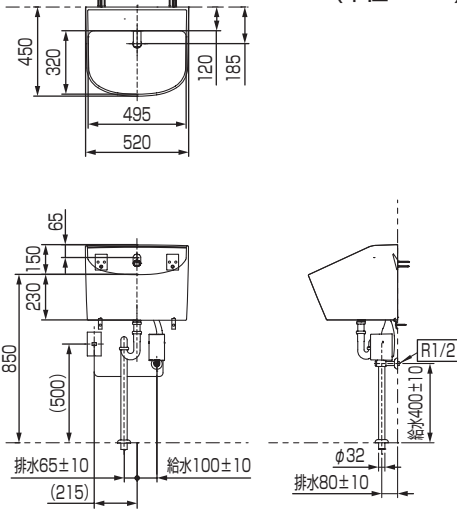
 注意		
 必ず実行	凍結のおそれがある場合は、器具周囲の温度が氷点下にならないようにする 手洗器が凍結すると破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および当社指定部品を使用する 他社品を使用すると正常な取り付けができなくなる可能性があります。	

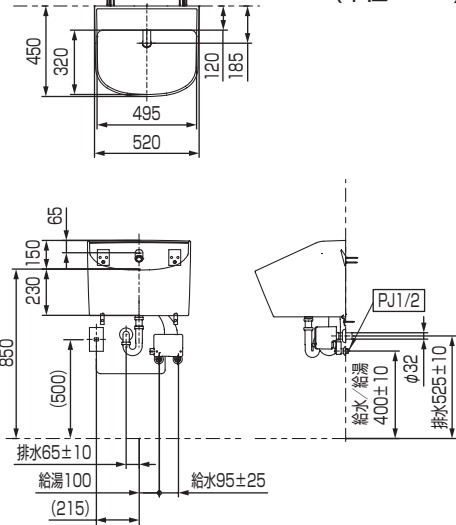
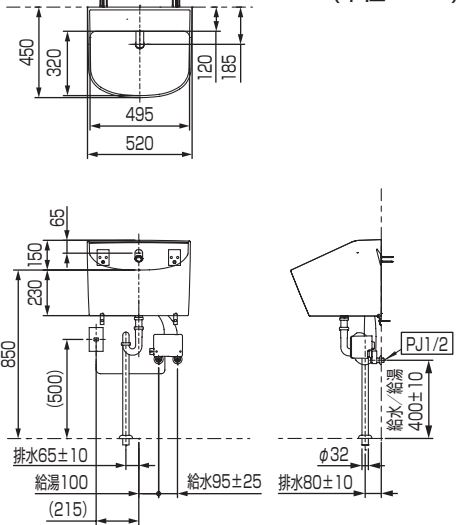
同梱部品

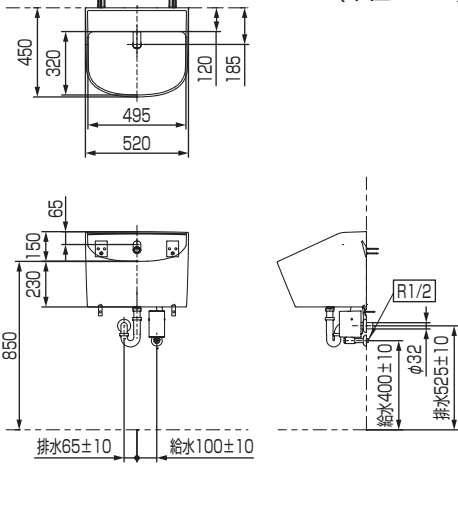
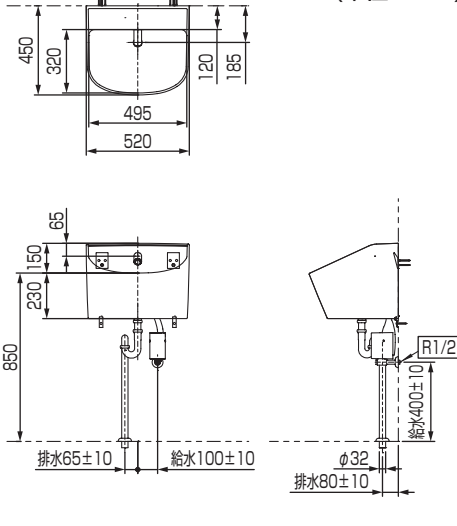
手洗器	パッキン	排水ソケット	目皿	固定板
 (1個)	 (1個)	 (1個)	 (1個)	 (1個)
ゴムブッシュ	座金組み込みねじ	施工説明書	取扱説明書	
 (2個)	 (2本)	 (1部)	 (1部)	

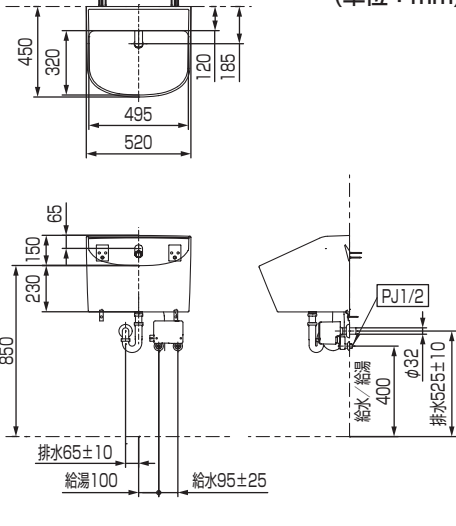
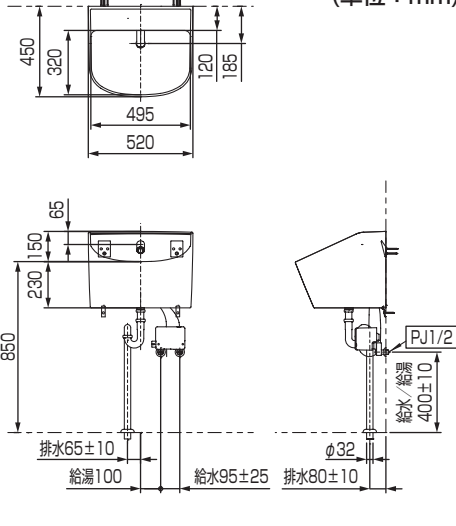
※別途手配品：固定金具類、水栓金具他

完成図

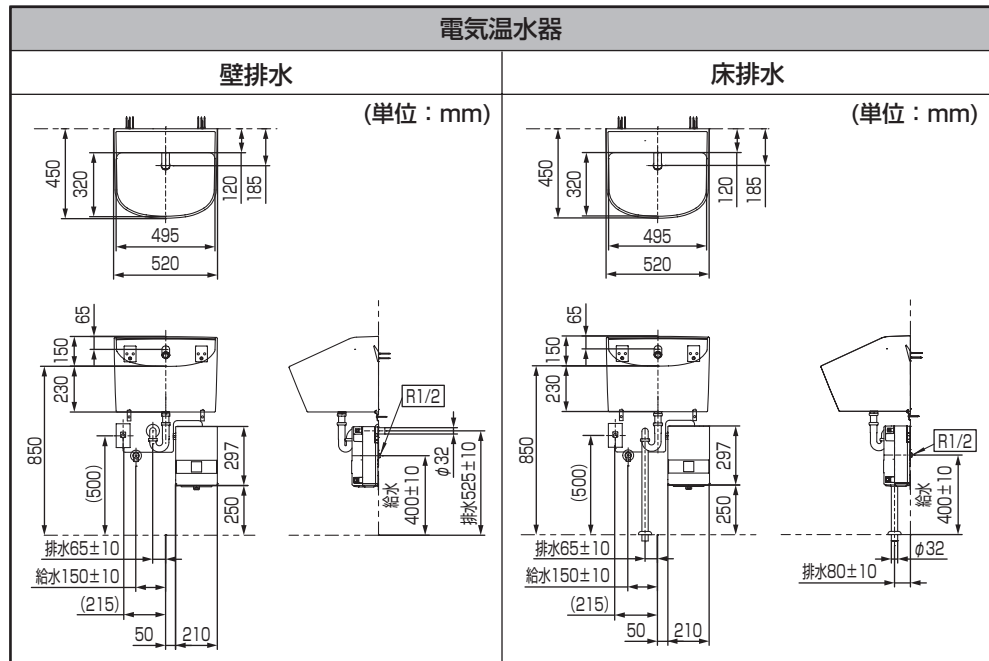
単水栓（AC電源タイプ）	
壁排水	床排水
(単位：mm) 	(単位：mm) 

サーモスタット混合栓（AC電源タイプ）	
壁排水	床排水
(単位：mm) 	(単位：mm) 

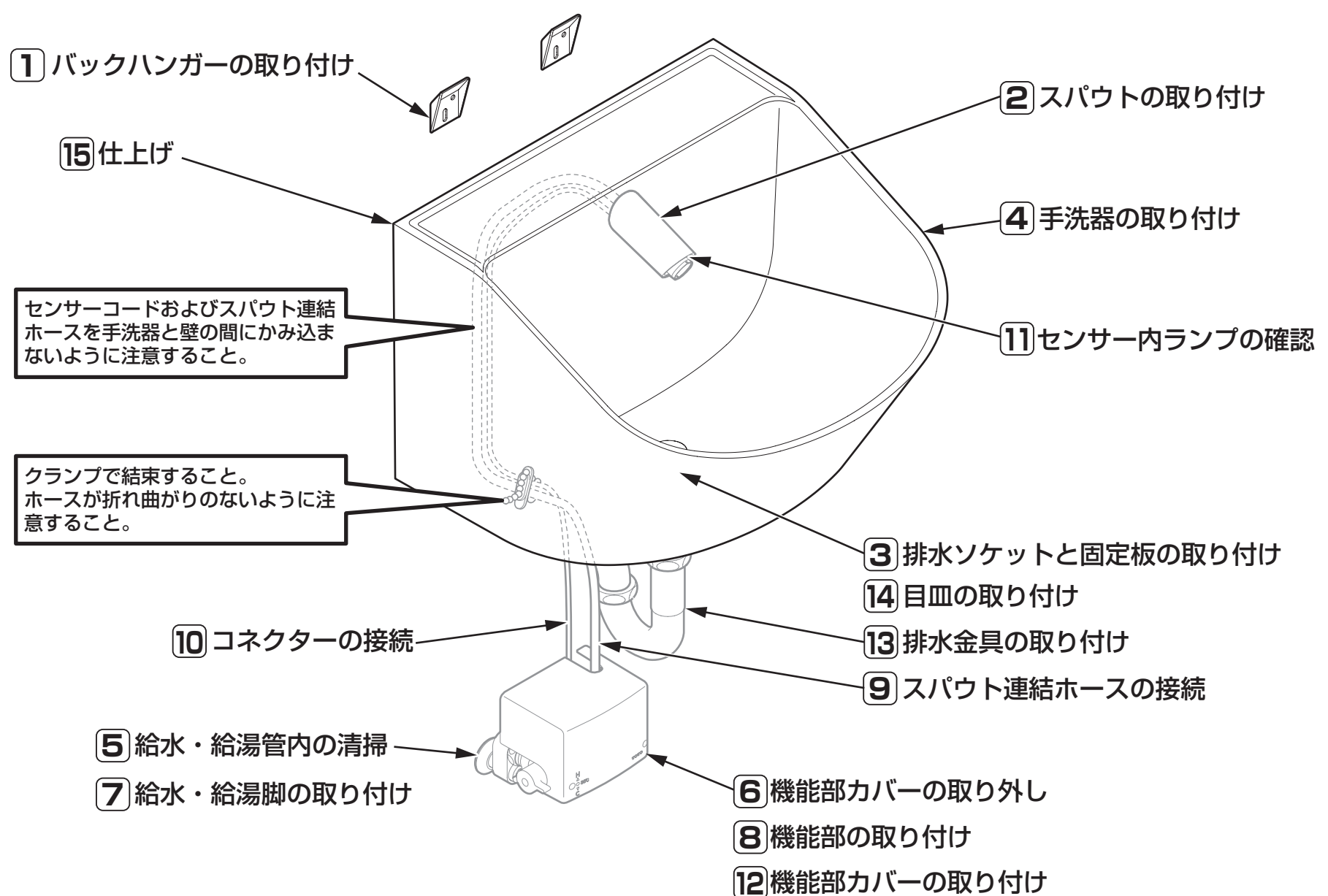
単水栓（発電タイプ）	
壁排水	床排水
(単位：mm) 	(単位：mm) 

サーモスタット混合栓（発電タイプ）	
壁排水	床排水
(単位：mm) 	(単位：mm) 

完成図



施工手順



取付方法

1 バックハンガーの取り付け

(単位：mm)

①位置決め

バックハンガーは右図の位置で壁と固定する。
固定する位置にあらかじめ壁の構造に応じた補強を行うこと。

②仮固定

バックハンガーを長穴の1箇所では仮固定する。
また長穴の箇所にはワッシャーを入れること。

下地がコンクリートの場合

壁にφ8×深さ50mm以上の穴を開け、樹脂プラグを打ち込んだあと、木ねじで固定する。

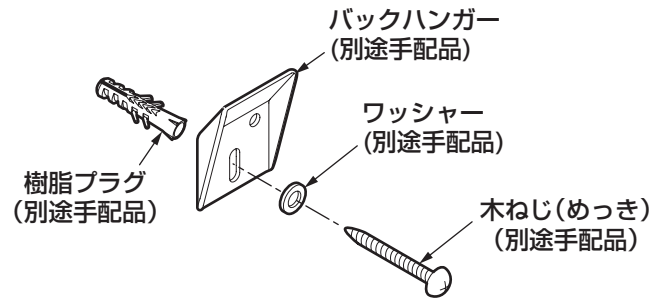
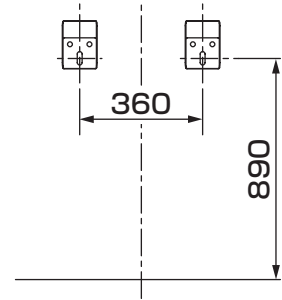
※壁の構造に応じた適切な方法で固定してください。

③位置調整

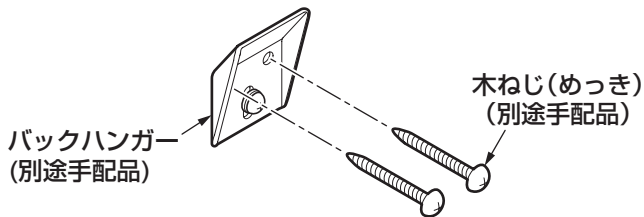
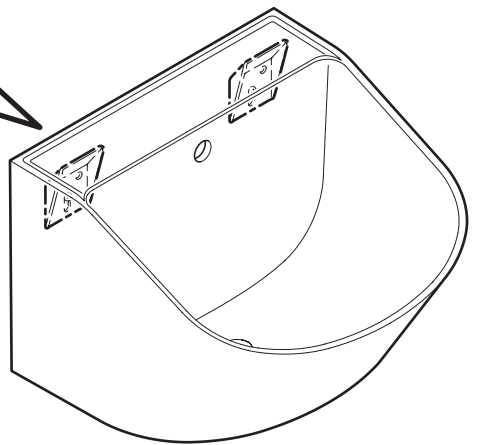
手洗器をバックハンガーに仮置きして、手洗器の水平レベルを確認する。

④固定

※バックハンガーは必ず3点で固定してください。



手洗器の水平
レベルを確認
してください。



2 スパウトの取り付け

スパウトの取り付けは、自動水栓同梱の施工説明書に従ってください。

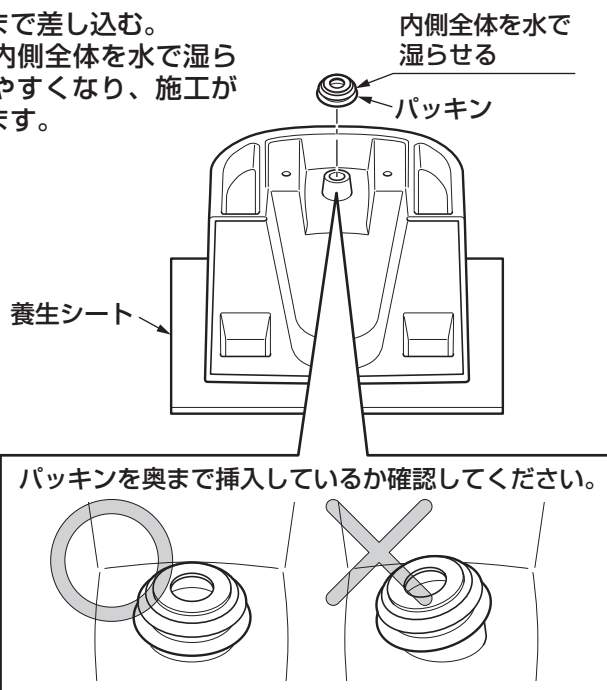
3 排水ソケットと固定板の取り付け

注 意

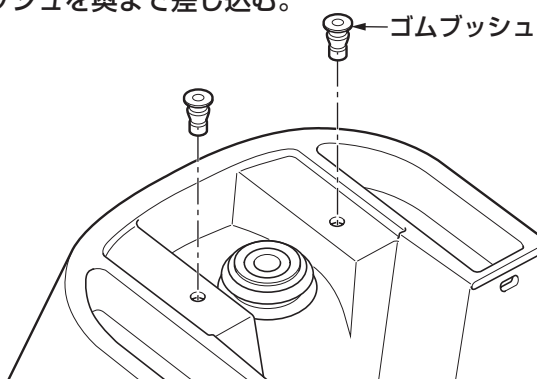
手洗器を床に置かれる際は、養生シートの上に置いてください。
手洗器に傷がつくおそれがあります。

①パッキンを奥まで差し込む。

※パッキンの内側全体を水で湿らせると滑りやすくなり、施工が確実にできます。

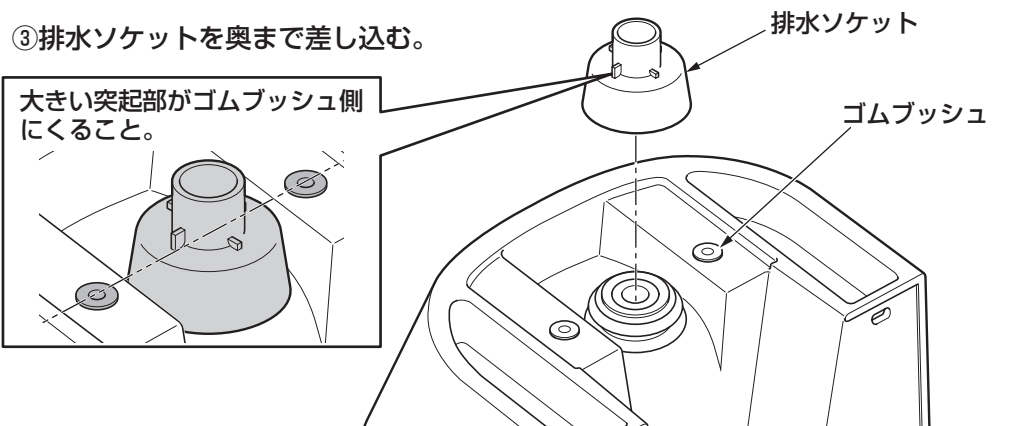


②ゴムブッシュを奥まで差し込む。



③排水ソケットを奥まで差し込む。

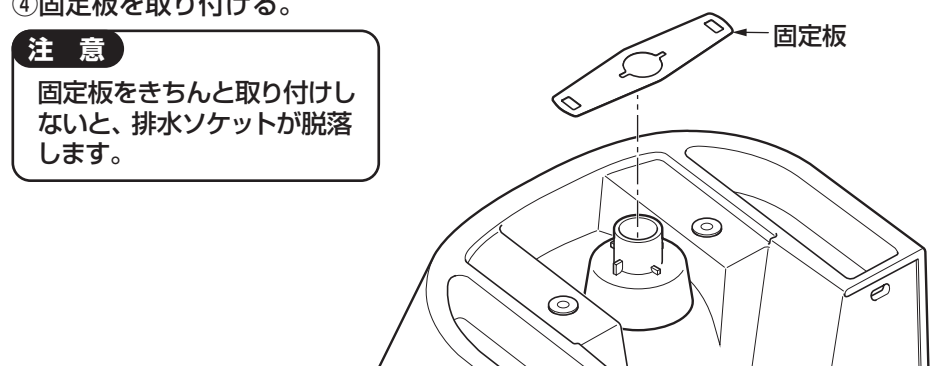
大きい突起部がゴムブッシュ側にくること。



④固定板を取り付ける。

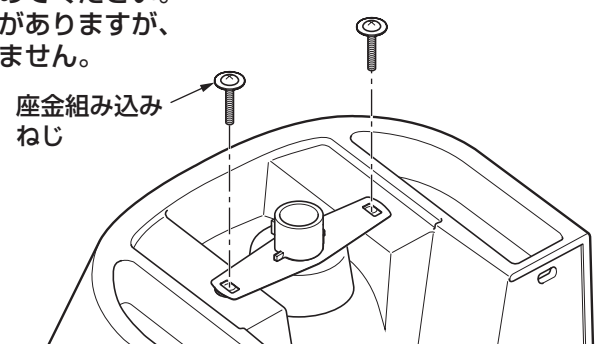
注 意

固定板をきちんと取り付けしないと、排水ソケットが脱落します。



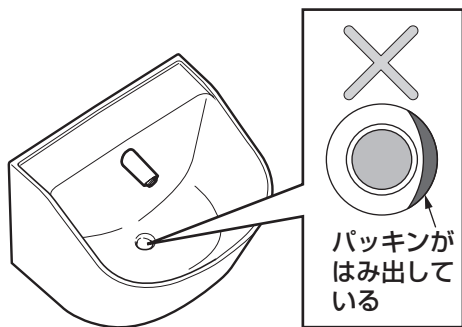
⑤座金組み込みねじを締め込む。

※左右均一にしっかり締めてください。
※固定板が湾曲することがありますが、取り付け上、問題ありません。

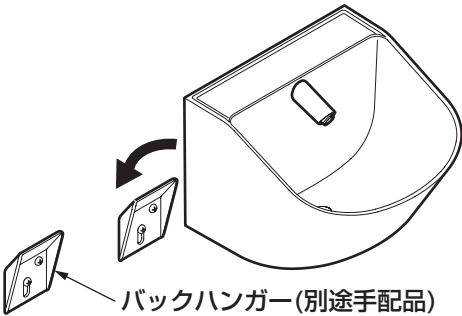


4 手洗器の取り付け

- ①パッキンが見えていないことを確認する。
※パッキンがはみ出している場合は取付方法の③①の作業に戻ってやり直してください。



- ②手洗器の設置
手洗器をバックハンガーにかけて設置する。

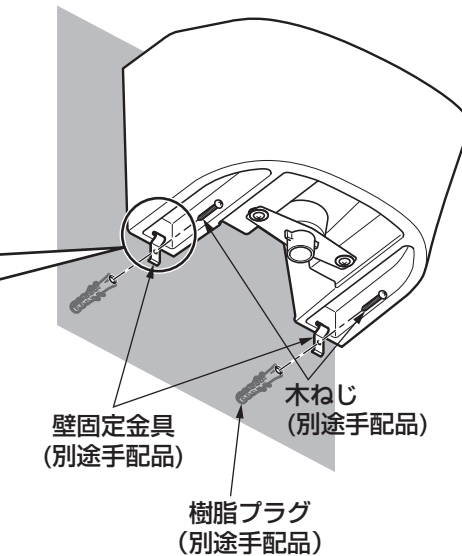


- ③壁の固定
壁固定金具を陶器に引っ掛けた状態で木ねじで固定する。

下地がコンクリートの場合

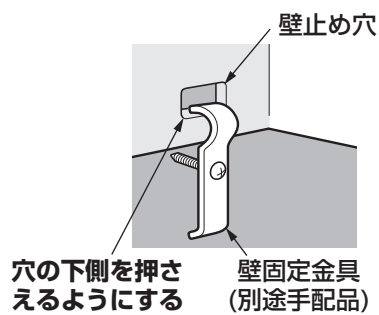
壁にφ8×深さ50mm以上の穴を開け、樹脂プラグを打ち込んだあと、木ねじで固定する。

※壁の構造に応じた適切な方法で固定してください。



注意

壁止め穴の下側を適切に押えないとぐらつきやすくなります。

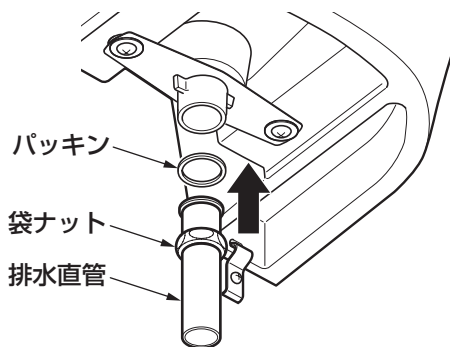
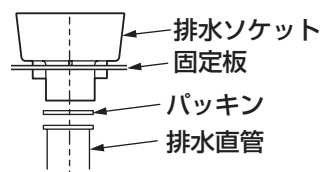


13 排水金具の取り付け

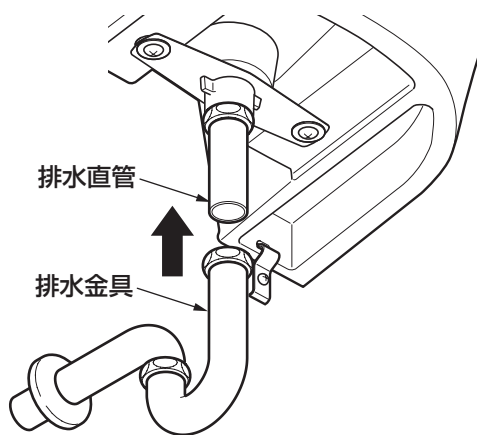
- ①排水直管の固定
排水直管を手洗器に袋ナットで固定する。

注意

排水ソケットが排水直管に対し、真っすぐに接続するよう向きを調整すること



- ②排水金具の取り付け
排水金具を取り付ける。



5 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

6 ~ 12 の取付方法は、自動水栓同梱の施工説明書に従ってください。

6 機能部カバーの取り外し

7 給水・給湯脚の取り付け

8 機能部の取り付け

9 スパウト連結ホースの接続

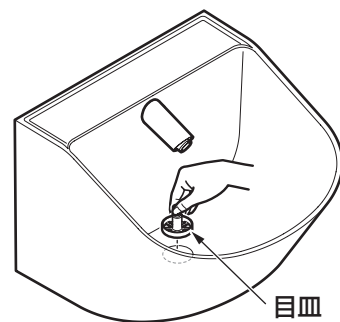
10 コネクターの接続

11 センサー内ランプの確認

12 機能部カバーの取り付け

14 目皿の取り付け

目皿を取り付ける。

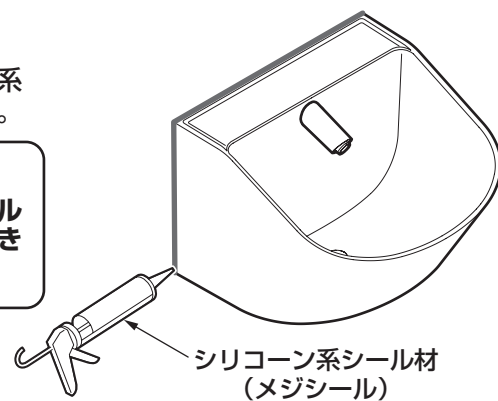


15 仕上げ

手洗器が壁に接する面にシリコーン系シール材（メジシール）を塗布する。

注意

手洗器に残ったシリコーン系シール材（メジシール）はきれいにふき取ってください。



試運転

自動水栓の試運転は、自動水栓同梱の施工説明書に従ってください。